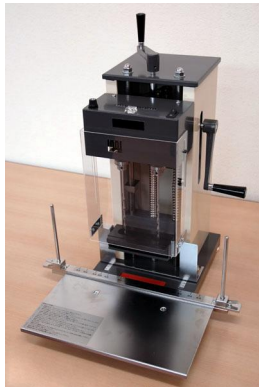


# 二連式電動穿孔機 操作解説



1.本体の組み立て

2.操作説明(穿孔の手順)

3.お手入れ

ビデオは以下のURLにあります  
<http://www.na2.co.jp/video/TPV001/>

## 1.本体の組み立て

テーブルベース、紙押えゲージ、レバーハンドル、プレスハンドルを本体に取り付けます。  
組み立てに必要な付属品は、プラスドライバー、L型レンチです。



本体の前側にある”ねじ”を二本取り外します。  
テーブルベースをねじ穴にあわせ、外した”ねじ”でしっかり固定します。



レバーハンドルは長い方のハンドルです。本体右側のハンドル軸から”ねじ”を取り外します。  
レバーハンドルを軸にはめ込み、”ねじ”でしっかり固定します。



プレスハンドルは短いほうのハンドルです。ハンドルについているレンチねじをL型レンチでゆるめておきましょう。本体上部のハンドル軸には固定用のくぼみが付いています。その部分がレンチねじの位置に合うようにハンドルをはめ込みます。L型レンチを使って、プレスハンドルをしっかりと固定します。

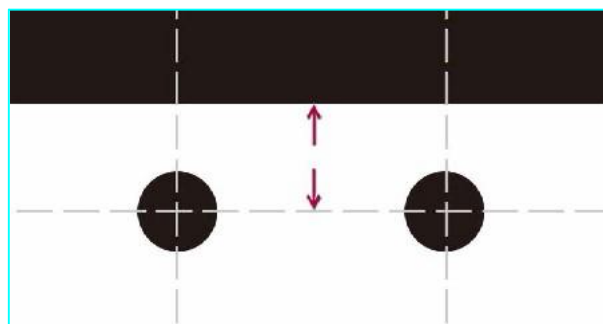


紙押えゲージをテーブルベースの奥に取り付けます。溝の中央に突起がありますので、それを紙押さえゲージの中心に合わせて装着します。



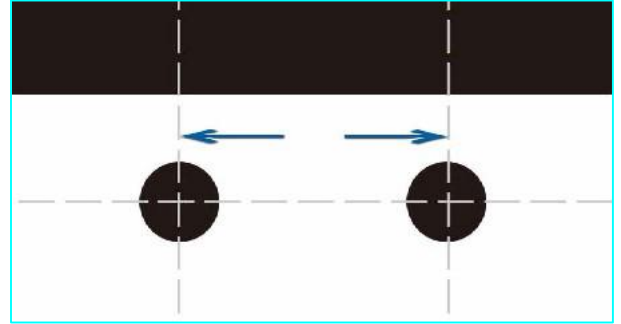
## 2. 操作説明(穿孔の手順)

穿孔する位置を決めます。  
テーブルベース奥のスライドゲージを移動させて、穿孔の奥行きを決めます。



穿孔の奥行きはこの長さのことです。

穿孔ピッチを決めます。40mm～80mm まで本体左のピッチハンドルを回して変更することができます。

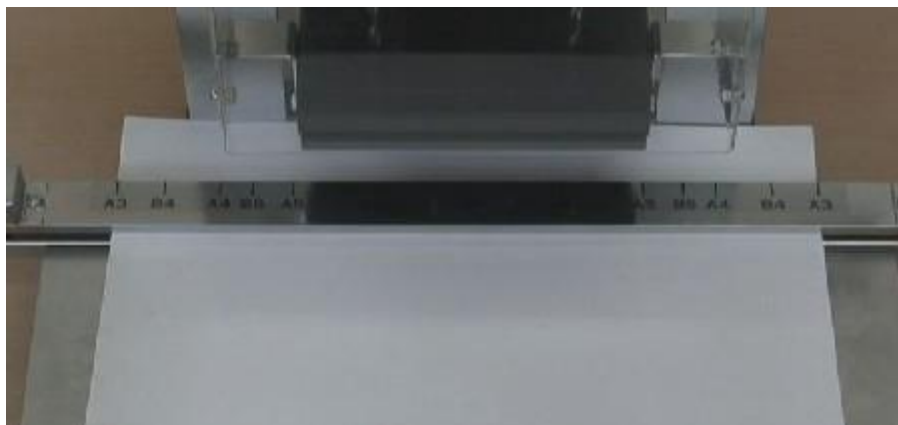


穿孔ピッチはこの長さのことです。

紙押えゲージを広げて、穿孔する紙束をスライドゲージにあたる部分まで奥に押し込みます。  
穿孔する紙を揃えて、紙押えゲージで挟み、しっかり固定します。  
この時、穿孔の位置を紙押えゲージの目盛りであわせませす。



ゲージは、A4縦とじならA4の目盛りに…A4横とじの場合はA3の目盛りに幅を合わせます。



本体上のプレスハンドルを時計回りに回し、穿孔ユニットを下げてゆきます。  
しっかり紙が固定されるまでユニットを下げましょう。



ユニットが下がりきって固定されたら、スイッチを入れましょう。ドリルが回転を始めます。



レバーハンドルを回して、ユニットを下げてゆきましょう。  
このとき左手でしっかり本体を押さえましょう。  
ドリルが穿孔する紙束にあたると穿孔が開始されます。



レバーハンドルを下げてゆくと、進むにつれて手ごたえが少し重くなります。  
そう感じたらハンドルを反対に回し、ドリルを上げましょう。



穿孔した紙カスが取り除かれると、またハンドルを回し、ドリルを下げ穿孔を続けます。

**この手順を何回か繰り返します。**

(目安: 1センチ進む毎にドリルを上げると良いでしょう)

**ドリルの回転負荷が大きくなると保護回路が働き、ヒューズが切れることがあります。必ず何回かドリルを上下動させてください。**



**※ 万一、ドリルの回転が止まってしまった場合は、必ずスイッチを切ってからレバーハンドルでドリルを上げてください。**

ユニット上部のランプが点いたら、穿孔完了です。



スイッチを切って、プレスハンドルで穿孔ユニットを上げましょう。



紙押えゲージごと取り外し、ゴミ箱を用意して穿孔の切りカスを捨てます。



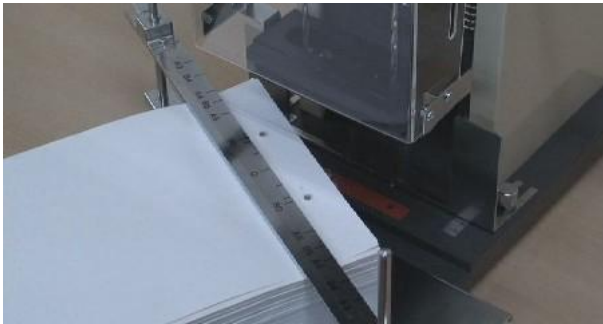
同時にカス受けのカスも捨てましょう。



ゲージを広げて、穿孔した用紙を取り外します。



穿孔する用紙の一番上には、不要な紙を一枚置くとよいでしょう。  
一枚目はドリルが上下する関係上、穴の形が乱れることがあります。



テーブルベースのカスも、付属のはけを使ってきれいに掃除しましょう。



### 3.お手入れ

カス受けやテーブルベースはこまめにカスを取り、きれいにしましょう。  
中央のドリル上下用をはじめ各シャフトには、ブラシで潤滑油を塗るか、  
スプレータイプの潤滑剤などを、定期的に注すことをお勧めします。

